

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 7 月 30 日 (2009.7.30)

【公開番号】特開 2009-22805 (P2009-22805A)

【公開日】平成 21 年 2 月 5 日 (2009.2.5)

【年通号数】公開・登録公報 2009-005

【出願番号】特願 2008-284673 (P2008-284673)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/56 (2006.01)

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/472 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/18 3 5 0

A 6 1 F 13/18 3 4 0

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 6 月 12 日 (2009.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

吸収層及び防漏層を有する吸収性本体と、排泄部対向部における該吸収性本体の両側に設けられた一対のウイング部とを有する吸収性物品において、

一対のウイング部それぞれの形状が、各ウイング部の先端の縁部の中点を通る幅方向横断線の前で非対称である吸収性物品。

【請求項 2】

一対のウイング部それぞれの基端は、前記幅方向横断線より後方に位置する部分の長さが、該幅方向横断線より前方に位置する部分の長さより長い請求項 1 記載の吸収性物品。

【請求項 3】

一対のウイング部それぞれは、吸収性物品長手方向後側の縁部の、前記吸収性本体の長手方向に対する傾斜角度が、吸収性物品長手方向前側の縁部の、該吸収性本体の長手方向に対する傾斜角度よりも小さい請求項 1 又は 2 記載の吸収性物品。

【請求項 4】

一対のウイング部それぞれの吸収性物品長手方向後側の縁部は、ウイング部先端側から基端に近づくにつれて、前記吸収性本体の長手方向に対する傾斜が緩やかになっている請求項 1 ～ 3 の何れかに記載の吸収性物品。